

1. 分野別まちづくりの方向性

将来像『笑顔あふれる 安心のまち 島田』の実現に向けて、以下の分野ごとにまちづくりを進めていきます。

(1) 防災・福祉・健康

安全ですこやかに
暮らせるまちづくり

①ここに住むすべての人の安全な生活を守る p.46 ~

②健康で自分らしく暮らす p.50 ~

③生涯を通じて誰もが生きがいを持ち安心して暮らす p.54 ~

④弱い立場の人を支えあう p.58 ~

主要な取り組み一覧… 資料編 p.1 ~ p.6 めざそう値一覧… 資料編 p.37 ~ p.38

(2) 子育て・教育

子育て・教育環境が
充実するまちづくり

①子どもを生き育てやすい環境をつくる p.62 ~

②地域ぐるみの教育環境をつくる p.66 ~

③豊かな心を育む教育を進める p.68 ~

④地域で学びの力を発揮する人材を育てる p.70 ~

⑤生涯スポーツを楽しむ人を増やす p.74 ~

主要な取り組み一覧… 資料編 p.7 ~ p.13 めざそう値一覧… 資料編 p.39 ~ p.40

(3) 経済・産業

地域経済を力強く
リードするまちづくり

①雇用の創出や新技術の導入により地域経済を発展させる p.78 ~

②世界に誇れる技術を持った中小企業を育てる p.80 ~

③商店街や個店を支援し、地域のにぎわいを生み出す p.82 ~

④地域の特色を活かした農林業を進める p.84 ~

⑤人と地域の魅力を伝える観光施策を進める p.86 ~

主要な取り組み一覧… 資料編 p.14 ~ p.18 めざそう値一覧… 資料編 p.41 ~ p.42

(4) 環境・自然

住みよい生活環境が
あり、自然とともに
生きるまちづくり

①地球環境の保全に貢献する p.90 ~

②みどり豊かな自然を守り育む p.94 ~

③水資源と水環境を守る p.96 ~

④住みよい生活環境をつくる p.98 ~

主要な取り組み一覧… 資料編 p.19 ~ p.24 めざそう値一覧… 資料編 p.43 ~ p.44

(5) 歴史・文化・地域

歴史・文化がかがやく、
人が集まるまちづくり

①培われた歴史・文化で地域への理解と愛着を深める p.104 ~

②島田を知り、好きになってもらう p.108 ~

③人との連携・交流が生まれる地域をつくる p.110 ~

主要な取り組み一覧… 資料編 p.25 ~ p.27 めざそう値一覧… 資料編 p.45 ~ p.46

(6) 都市基盤

ひと・地域を支える
都市基盤が充実する
まちづくり

①安全で快適な生活基盤を整える p.114 ~

②地域と地域の活発な交流を支える道をつくる p.118 ~

③便利で魅力あるまちの拠点をつくる p.120 ~

主要な取り組み一覧… 資料編 p.28 ~ p.30 めざそう値一覧… 資料編 p.47 ~ p.48

(7) 行財政

人口減少社会に
挑戦する経営改革

①みんなの協力でまちをつくる p.126 ~

②安定的・継続的な市民目線の行財政運営を進める p.128 ~

③都市間連携による地域の活性化を進める p.132 ~

④公共施設を賢く持って、賢く使う p.134 ~

主要な取り組み一覧… 資料編 p.31 ~ p.35 めざそう値一覧… 資料編 p.49 ~ p.50

★「分野別まちづくり」の見方

分野別まちづくりの方向性について、政策分野ごとに以下のように示しています。

施策の柱

○政策分野ごとに示すまちづくりの方向について項目（目標）立てしています。

基本的な施策の方向性

○施策の柱ごとに、まちづくりを進めていくうえで必要な、取り組みの方向性を掲載しています。

施策と内容

○「基本的な施策の方向性」を踏まえた主要な取り組み内容と、その事例を掲載しています。

施策の柱

1-1

ここに住むすべての人の安全な生活を守る（危機管理・防災・消防）

基本的な施策の方向性

南海トラフ巨大地震の切迫性、局地的・短時間豪雨やスーパー台風による風水害・土砂災害の激甚化、大規模感染症やテロ・武力攻撃のリスク拡大など、これまで経験したことのないあらゆる危機事態への対応が求められています。

さらに、少子高齢化の進展や防災施設を含めた公共インフラの老朽化等は、これら危機事態への対応を難しくさせる要因でもあります。

それでも、本市が持つ地域のつながりやコミュニティはそれらを跳ね返す力を持っています。これまでの防災への活動成果を最大限活かしながら、自助・共助・公助を促進する取り組みを総合的に推進し、市民の命と暮らしを守る体制強化を進めていきます。

施策と内容

1. 危機管理体制の実効性を向上させます

あらゆる危機事態に迅速に対応する体制を維持するとともに、経験したことのない危機事態への対応力を向上させるために、状況の変化にも的確に対処できる取り組みを進めます。また、災害対応の原動力となる消防団の組織力を強化するほか、災害対応のキーマンとなる市職員の育成を進めることで、危機管理体制の実効性を向上させます。

主要な取り組みの事例

- 国土強靱化地域計画や地震対策アクションプログラムに沿った事業の推進
- LPZ安全協定の適切な運用
- BCP等に基づく対応力の強化
- 消防団の体制の見直しと団員確保の取り組み
- 危機管理の専門知見を有する人材の育成

防災マスター：育成講座修了者数 (H27年度からの累計)	H28(2016)	H33(2021)
	77人	230人

2. 地域防災力の維持・向上の取り組みを加速します

激甚化する自然災害の様相は、気象警報や避難情報の伝達が間に合わないことがあり得ることを示しています。また、大規模地震時には、初動での人命救助活動や初期消火活動、さらに、要配慮者を含めて地域の隅々まで救援の手を差し伸べる行動は、自主防災組織等の地区の救援組織が担うこととなります。

少子高齢化の中にあつて、地域のコミュニティ力を活かし、地域の特性や実情に応じた共助の仕組みづくりを着実に進めるなど、地域防災力強化の取り組みを加速します。

主要な取り組みの事例

- 自主防災組織の活動支援や補助金制度の検討
- 洪水・土砂災害ハザードマップの更新
- 地域防災の核となる人材の育成

地域の防災訓練参加率	H28(2016)	H33(2021)
	50.29%	52.0%

主要な取り組みの事例

- 自主防災組織の活動支援や補助金制度の検討
- 洪水・土砂災害ハザードマップの更新
- 地域防災の核となる人材の育成

静岡県ふじのくにジュニア防災士認定者数（H28年度からの累計）	H28(2016)	H33(2021)
	314人	4,000人

用語解説

- 【スーパー台風】風速が70m/sを超える台風
- 【激甚化】きわめてはげしいこと、はなはだしいこと。また、そのさま。
- 【LPZ安全協定】「共同防災力向上等の施設市の安全確保等に関する協定書」のこと。平成28年7月8日に、県知事、中部電力株式会社代表取締役社長兼社長執行役員、5市2町（島田市、藤枝市、焼津市、浜井市、磐田市、吉田町、森町）首長が調印した。
- 【BCP（業務継続計画）】Business Continuity Planの略で、災害・事故を受けても重要業務をなるべく中断せず、中断してもできるだけ早急に復旧させるための計画
- 【防災マスター】市の危機管理に関する当事者意識や目的意識を堅持して、市長（対策本部長）や住民の立場に立って判断・行動し、冷静・沈着に被害を進行できる人材
- 【要配慮者】高齢者、障害者、乳幼児等の防災施策において特に配慮を要する者

46

指標と目標値について

○分野別まちづくりの方向性に示す「施策の柱」と「主要な取り組み」に応じて、それぞれの達成状況を測るための指標と目標値を設定しています。

（具体的には以下の3階層で設定）

【階層1】第2次総合計画前期基本計画のすべてを包含する目標として、「市民の幸福度」を最上位に設定します。 ※ p.44参照

【階層2】主要な取り組みを包含するものとして、施策の柱ごとに設定します。

【階層3】主要な取り組みの進捗を測るものとして、施策単位ごとに設定します。

この柱のみんなできざそう値

防災メール登録者数 (H26年度からの累計) H28(2016) 3,900人 → H33(2021) 6,500人

政策分野1 防災・福祉・健康



▲防災訓練(救出救助訓練) ▲はしご救出体験

3. 市民の安全確保を確実にする条件整備を進めます

情報や警報の伝達体制を整備するとともに、直接的・間接的に居住空間の安全を確保できるハード対策を進めます。また、交通インフラ等の耐震化や長寿命化を図るなど、様々な災害や危機事態に対する市民の安全確保を確実にものとしていきます。

主要な取り組みの事例

- デジタル式同報系防災行政無線⁷⁾の整備方針の検討
- ICTやドローンを活用した災害情報の収集・処理システムの導入
- 第一次指定避難所への公衆無線LAN⁸⁾の整備
- 本道住宅の耐震化など家庭の防災対策への支援
- 本道住宅からの大規模火災リスク軽減を図る感震ブレーカー⁹⁾の設置促進
- 島田市公共施設等総合管理計画を踏まえた公共施設の耐震化
- 環状中央線の電線類地中化による、市街地から広域避難地を結ぶ安全・安心な避難経路の確保
- 土砂災害から市民の命と財産を守るハード整備

一般住宅の耐震化率

H28(2016) 80.8% → H33(2021) 95.0%

4. 広域の消防救急体制を含め、関係機関等との連携体制を充実強化します

広域消防救急体制のスケールメリットを最大限に活かして、火災・事故・災害の初動において市民の生命・財産を確実に守る体制を堅持します。

また、自衛隊、消防、警察、DMAT¹⁰⁾等の広域応援部隊はもとより、指定地方公共機関¹¹⁾として指定を受けた事業所のほか、災害応援協定を締結した自治体や民間事業者、ボランティア活動を担う民間団体等との連携体制を充実・強化します。

主要な取り組みの事例

- 消防救急広域体制の維持と効果を高める取り組み
- 救命率向上のための、市民への応急手当の知識・技術の普及
- 関係機関、関係団体等との災害応援協定の締結及び協定に基づく連携体制の具現化の検証

関係機関との合同訓練等の連携団体数(年間延べ団体数)

H28(2016) 20団体 → H33(2021) 25団体

用語解説

⁷⁾【ヘッドマップ】災害時被害等の予測を地図で表したもの
⁸⁾【デジタル式同報系防災行政無線】デジタル式の同報系防災行政無線(屋外拡声器を介して、市町村役場から住民等に対して警報・同時に防災情報や行政情報を伝えるシステム)の伝達方式をデジタル化したシステム。近年の大規模災害の発生を教訓として、防災行政無線はこれまで以上に多様化・高度化する通信ニーズ(画像伝送・データ伝送等)への対応が要求されるとともに、平常時における有効活用を図るために更なる改善が求められている。
⁹⁾【公衆無線LAN】無線LANを用いたインターネットへの接続を提供するサービスを指す。
¹⁰⁾【DMAT】Disaster Medical Assistance Teamの略で、専門的なトレーニングを受け、災害急性期に活動できる機動性を有する、救命治療を目的とする医療チームのこと
¹¹⁾【指定地方公共機関】都道府県の区域において電気、ガス、輸送、通信、医療その他の公益の事業を営む法人地方道路公社その他の公共の施設を管理する法人及び地方独立行政法人で、あらかじめ当該法人の意見を聴いて当該都道府県知事が指定する機関

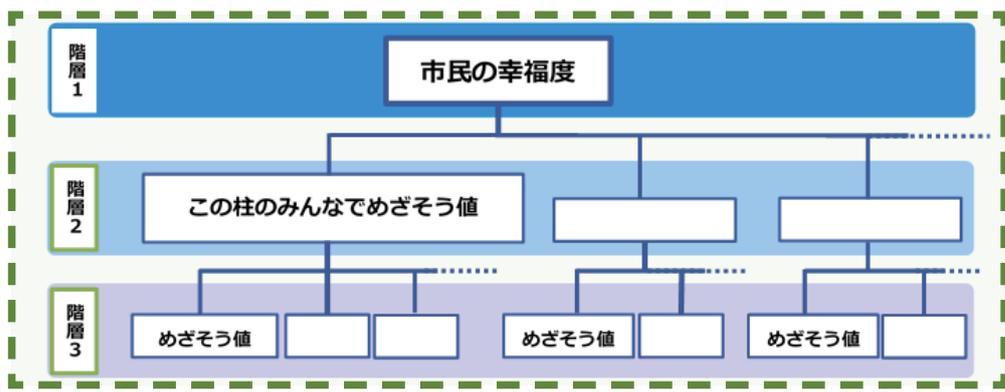
47

この柱のみんなできざそう値 (階層2)

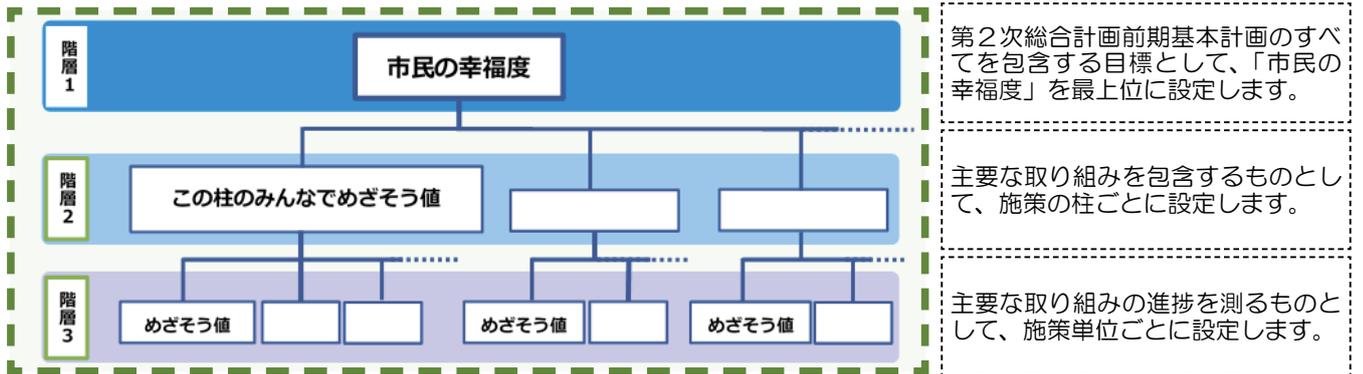
関連する情報
○「施策と内容」に記載された内容を中心に関連する写真やデータ(表・グラフ)などを適宜掲載しています。

めざそう値 (階層3)

用語解説
○必要に応じて、専門用語などに対する解説を掲載しています。
※対象となる用語は、文中の表記の右下に番号を付しています。
(例: スーパー台風¹⁾)



★指標の構成について（再掲）



★全体指標について

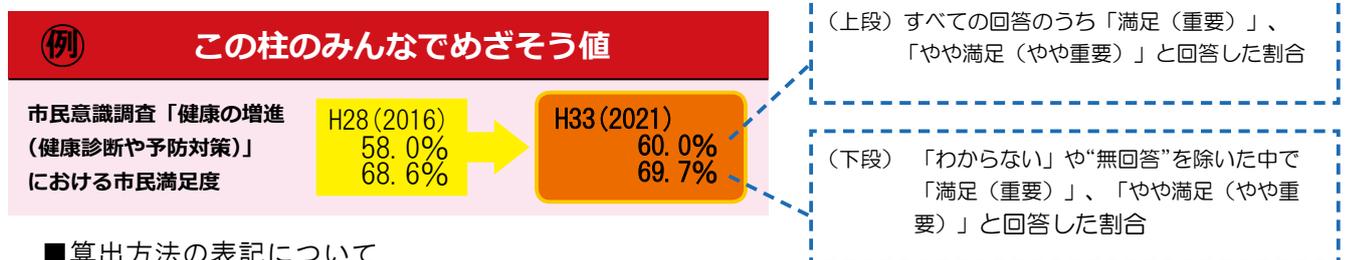
第2次総合計画前期基本計画のすべてを包含する目標指標として、階層1に「市民の幸福度」を設定します。



★めざそう値の表記について

■市民意識を測る指標について

階層2、階層3に設定する市民意識（満足度・重要度）を測る指標は、市民意識調査設問項目に対し「わからない」と答える人や“無回答”の人の回答の取り扱い方を変えて、2段階書きとしています。



■算出方法の表記について

めざそう値の数値について、毎年度（単年）の数値目標を設定したものには（年間）、事業開始時などから数値を積み上げているものには（H（平成）●年度からの累計）、調査時点が決まっているものには（年度末時点）、（毎年●月時点）などと表記しています。

